

最終評価シート

新規：H27年度から新規協定を結んだ指定管理者
 継続：前回指定期間から継続して管理している指定管理者

公園名	指定管理者	
四季の森公園	四季の森公園パートナーズ（継続） 【横浜緑地(株)・(株)泰山園】	
最終評価	評価対象年度	指定期間
良好	平成28年度	2年目(5年間) 【通算8年目】

項目別の評価結果

1. 適切な管理運営業務の執行		3. 事業効果	
A	<ul style="list-style-type: none"> 植物管理、施設管理、清掃、環境への配慮、サービス向上、安全管理については事業計画に沿って管理運営が行われていた。 なお、植物管理で、支障枝の除去を計画よりも多く行うなどの取組みが見られた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果によると、清潔さ、接客、全体の満足度は「高い」評価となっているものの、植物管理、安全・安心の満足度は「普通」という評価となっている。 植物管理では、「蓮の花があまり咲かなくなってしまった」、「樹木・草花が以前より少なくなった」、という意見もある一方、「定期的な除草で管理できている」、「よく手入れされていて良い」などの意見があった。 安全・安心では、「売店に救命機器(AED)や管理事務所への通報装置を設置してほしい」という意見もある一方、「車が近くに來ないので子供を遊ばせやすい」などの意見があった。 自由意見としては、「もっと生物や生態学に詳しい人を増やしてほしい」、「散歩するのにちょうど良くて嬉しい」などの意見があった。
		・平成28年度の公園利用者数は、5年目の年間目標値734千人に対して683千人であった。	
2. 業務執行体制		4. 個別項目	
A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に沿った職員配置、本部との連携、人材育成など適切な運営体制が確保されていた。 個人情報保護、関係法令等が適正に遵守されていた。 事業計画に沿ってボランティア団体、地元自治体等と連携して、園内一斉清掃、自然観察会、稲作体験、防災訓練などを実施した。 地元企業のCSR活動について連携を行っていた。 	S	<ul style="list-style-type: none"> 「四季守」育成に向けた仕組みづくりおよびきめ細やかな取り組みについては、新たに野草ガイド育成講座を実施した。入門講座から高度な講座へステップアップしていく仕組みをつくり、参加者の志向に応じて選択できるようにした。また参加者要望を取り入れてプログラムをすぐに改良するなど、特筆すべき管理状況であった。 「公園の魅力である里山の管理、イベント開催など総合的な取り組み」と、「稲作を通じた近隣小学校との連携の深化」については、事業計画に沿って管理運営が行われていた。
		5. 提案の履行	
		A	<ul style="list-style-type: none"> 指定期間の2年目として、提案どおり取り組まれていた。

特記事項

管理状況が良く今後も継続が望まれる点 <ul style="list-style-type: none"> 野草ガイドの育成講座は、本園の特徴である野草の魅力を利用者に伝えるのに役立つ取り組みであり、今後も継続が望まれる。 NPO等と連携して里山林の手入れや、間伐材の活用を進める取り組みは、今後も継続が望まれる。 近隣小学校やボランティア団体と連携して、児童や保護者に稲作を体験してもらう取り組みは、今後も継続が望まれる。 	今後取り組むべき点や改善が望まれる点 <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮について、アンケートで池の外来生物を除去してほしいとの意見があった。外来生物が、公園に及ぼす影響を確認することが望まれる。
--	---

< 最終評価の基準 >

「特に優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、特に優秀な実績・成果をおさめている。[Sが3つ以上、B、Cがない]
 「優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、優秀な実績・成果をおさめている。[B、Cがない]
 「良好」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に適合している。[Cがなく、「特に優良」「優良」以外]
 「一部良好でない」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、一部において適合していない。[Cが1つ以上ある]